

西宮市立深津中学校

第1回進路説明会

進路決定までの道のり

2025年6月9日(月)15:00～

内容

1	進路決定	6
2	進路決定のために	6
2.1	一年間の流れ	7
3	卒業後の進路	8
3.1	高等学校へ進学	8
3.2	技術や資格の習得	8
3.3	就職	8
3.4	起業する	8
3.5	家事や家業	8
4	高校入試までの流れ	9
4.1	フローチャート	9
4.1	私立高校入試の注意点	9
4.2	公立高校は合格したら必ず入学	9
4.3	志願先の決定	9

5	高等学校の種類	10
5.1	設置者のちがい.....	10
5.2	学ぶ時間帯のちがい（課程）	10
5.3	学科のちがい	10
6	私立の高等学校（2月の入試）	11
6.1	私立高校の特徴.....	11
6.2	私立高校の入学試験日	11
6.3	私立高校の専願と併願	12
7	兵庫県の公立高校 PART1（2月の入試）	12
7.1	推薦入学	12
7.2	特色選抜（第2学区から選ぶ）	12
7.3	多部制Ⅰ期.....	13
8	兵庫県の公立高校 PART2（3月の入試）	13
8.1	複数志願選抜（第2学区から選ぶ）	13
8.2	単独選抜（全県＝兵庫県内から選べる）	15
8.3	多部制Ⅱ期試験A	15

8.4	定時制・通信制.....	15
9	兵庫県の公立高校 PART3（まとめ）	16
9.1	受検可能な区域.....	16
9.2	第2学区	17
10	高等専門学校	18
11	特別支援学校	18
11.1	視覚障害特別支援学校	18
11.2	聴覚障害特別支援学校	18
11.3	知的障害特別支援学校	18
11.4	肢体不自由特別支援学校.....	19
11.5	病弱特別支援学校	19
12	専修学校	19
13	就職	19
13.1	なぜ働くのか（職業の3要素）	19
13.2	資質	19

13.3	事業所の選び方	19
13.4	中学校卒業後の就職の現状	20
14	家事や家業.....	20
15	高校生等への修学支援.....	20
15.1	国の就学支援金.....	20
15.2	県の私立高等学校等生徒授業料軽減補助制度.....	20
15.3	奨学給付金.....	20
16	保護者の皆様へ.....	21
17	第2回進路説明会の内容（予定）	21

「自分の人生の責任者は自分自身」

校 長 西坂 大輔

義務教育が終われば、自分が選んだ進路に進んでいくことができます。みなさんにとっては、大きな人生の選択になるのかもしれませんが。近年、様々な進路が選べるようになってきています。選択肢が多いということは、可能性が開かれているということにもなりますが、逆に進路に対する思いがはっきりしていないと、選びきれないということにもつながります。

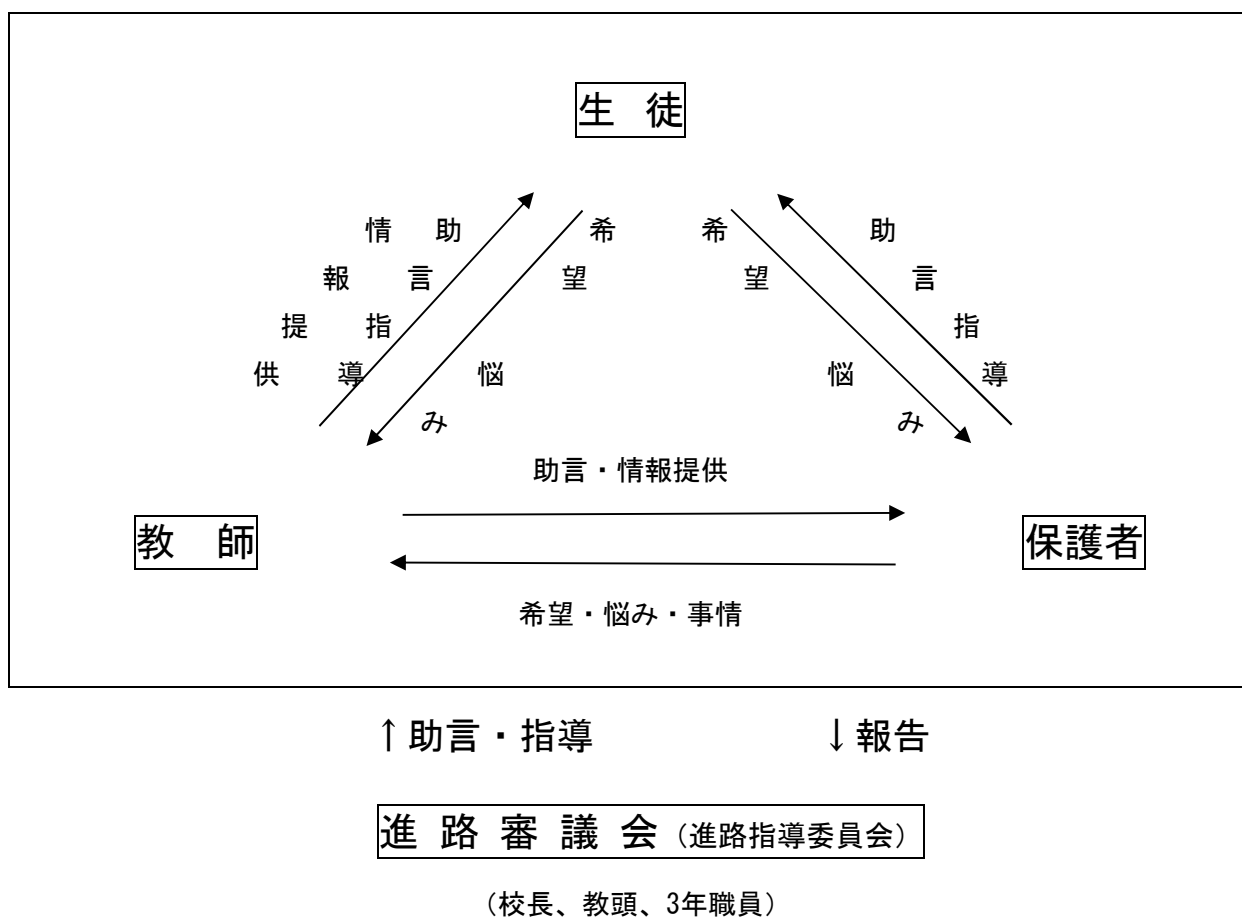
本校の校是「自分を生かす」には、自分に備わっている力を周りの人や社会のために生かし、生き生きと豊かな人生を歩んでほしいと願いが込められています。では、みなさんは社会に出るまでの間、どのような進路を選び、どのような仕事を通して自分を生かしていくかがイメージできているでしょうか。きっとイメージできない生徒が大半だと思います。今はホームページでたくさんの学校や仕事の情報を確認することができます。しかし、進路を選ぶためには、是非自分の足で見に行くことをおすすめします。ホームページでは伝わらない、進路先の雰囲気というものを感ずることができるはずです。

中学卒業後の「進路決定」は、自分の夢や適性について改めて考えるきっかけとなります。自分の得意なことは？苦手なことは？続けても苦にならないことは何か？これを適性といいます。自分自身の適性をしっかり見つめた上で、おうちの方としっかり相談してください。学校では担任の先生を中心として、学年の先生方がみなさんを全面的にサポートします。どんなことでも相談してください。様々な人たちからのアドバイスを聞き、その中で自分の道を選ぶのです。決めるのはみなさん自身です。

そして、忘れてはならないことは目標をかなえるための努力です。目標が決まっても、力が無ければ目標はかなえられません。自分が生き生きと輝くことができる環境を、自分の力で勝ち取るのです。がんばるみなさんを、先生たちは応援していきます。

「夢は努力によって育つ 努力すればするほど夢は大きくなるもんだ」

1.1 進路決定



2 進路決定のために

- (ア) 居心地のよい、心あたかな雰囲気の漂う学年づくりをします。
- (イ) 一人ひとりを大切にし、心身ともに健康でたくましい生徒の育成をします。
- (ウ) 学習・生活両面で、生徒が主体的に進路決定できるように支援します。
- (エ) 担任は進路審議会(＝校長・教頭・3年職員)との連絡を密にし、進路選択の助言を行います。
- (オ) 中学校は適切な進路情報を提供します。(進路だより、進路学活資料、パンフレット、ポスター、Teams)
- (カ) 本人・保護者・担任の十分な話し合いで志願先を決定します。

2.1 一年間の流れ

月	進路関係	主な学校行事
5 6	・ 修学旅行 ・ 第1回実力テスト（5/30 実施） ・ 第1回進路説明会 ・ 期末テスト ・ 第1回進路希望調査	・ クラブ壮行会 ・ 生徒総会 ・ 体育大会
7	・ 期末懇談	
8	・ 体験入学・オープンスクール ・ 第2回進路希望調査 ・ 第2回実力テスト	
9	・ 教育相談	
10	・ 中間テスト ・ 第2回進路説明会（予定） ・ 学力到達度調査	・ 文化活動発表会
11	・ 第3回進路希望調査 ・ 期末テスト	・ 中体連総合体育大会
12	・ 進路審議会 ・ 就職相談 ・ 期末懇談 ・ 面接指導	
1	・ 教育相談 ・ 就職相談 ・ 面接指導 ・ 私立高校入試手続 ・ 国立・高専入試手続 ・ 公立推薦・特色・多部制入試手続	
2	・ 私立高校入試・発表 ・ 国立・高専入試・発表 ・ 公立高校 推薦・特色・多部制選抜入試・発表 ・ 特別支援学校当初選考 ・ 就職試験 ・ 公立高校 学力検査入試手続 ・ 学年末テスト	
3	・ 特別支援学校当初選考発表 ・ 特別支援学校再募集入試・発表 ・ 公立高校 学力検査入試・発表 ・ 私立高校2次募集・定時制高校再募集 ・ 入社式	・ 卒業式 ・ 修了式

3 卒業後の進路

3.1 高等学校へ進学

(ア) 朝から夕方まで通学する

高等学校に進学し、中学校と同じような時間帯に通学します。

高等学校、高等専門学校、特別支援学校高等部などがあります。

(イ) 自分のペースで通学する

高等学校の多部制、定時制、通信制などがあります。

3.2 技術や資格の習得

専修学校、各種学校、職業訓練機関などがあります。

3.3 就職

事業所などがあります。

3.4 起業する

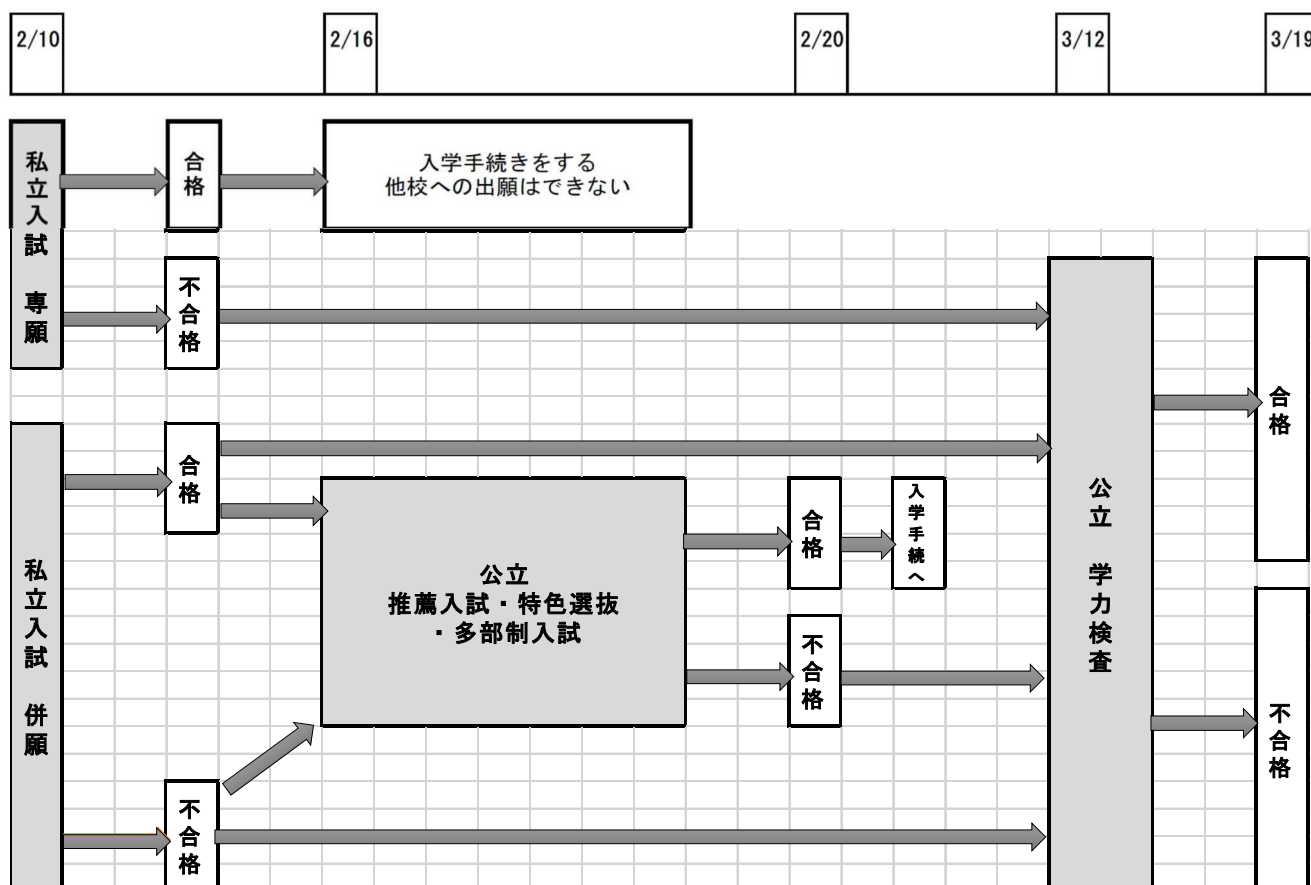
会社を作る、または個人事業主として事業を始めます。

3.5 家事や家業

家庭の仕事や自営業の手伝いなどがあります。

4 高校入試までの流れ

4.1 フローチャート



4.1 私立高校入試の注意点

(ア) 受験日程

2月上旬

(イ) 私立高校の専願と併願

専願で合格したら必ず入学

4.2 公立高校は合格したら必ず入学

公立高校は第1志望が前提の出願です。

公立高校を併願にはできません。また、合格後の入学辞退もできません。

4.3 志願先の決定

志願先は12月の期末懇談で最終決定します。その際、私立入試から公立入試まで全ての志願先を決定します。その後の志願先変更は原則できません。

5 高等学校の種類

高等学校はいろいろな区別ができます。大きく分けると 3 つの視点があります。それは「設置者」「学ぶ時間帯(課程)」「学科」です。

5.1 設置者のちがい

(ア) 公立

県や市が設置する学校(例:兵庫県立西宮高等学校、西宮市立西宮高等学校など)

(イ) 私立

個人や法人が設置する学校(例:報徳学園高等学校、仁川学院高等学校など)

(ウ) 国立

国の設置する学校(例:大阪教育大学附属高等学校池田校舎など)

5.2 学ぶ時間帯のちがい(課程)

(ア) 全日制(中学校の時と同じような時間帯)

授業や学校行事、部活動などの教育活動が昼間に行われます。各高等学校の特色に応じて、時間割やクラス編成などが工夫されています。

(イ) 定時制

昼間や夜間の特別な時間帯に教育活動が行われます。午後 1 時頃から 4 時頃まで学ぶ昼間定時制と午後 5 時頃から 9 時頃まで学ぶ夜間定時制があります。

(ウ) 多部制

複数の時間帯に教育活動が行われます。午前(1 部)、午後(2 部)、夜間(3 部)の 3 つの部があり、いずれかの部に所属して学習します。それぞれの生活スタイルに合わせ、部をこえて時間割を組み、学習することもできます。

(エ) 通信制

通信の方法による教育活動が行われます。レポートの提出や年間に定められたスクーリング(教室などで、先生から直接指導を受けること)などによって単位を修得できます。

5.3 学科のちがい

(ア) 普通科

普通科では、国語、地理歴史、公民、数学、理科、英語などの教科を中心に学びます。生徒の進路希望や興味・関心に応じて系統的に教科・科目が選択できるよう、文系、理系などが設置されている高等学校もあります。

(イ) 普通科新学科

令和6年度より、県立高等学校の普通教育を主とする学科として、「普通科新学科」(①学際領域に関する学科、②地域社会に関する学科、③STEAM に関する学科)が新たに設置されました。これらの学科では、現代的な諸課題に対応するために必要な資質・能力の育成を目指し、国語、地理歴史、公

民、数学、理科、英語などの教科に加え、学校の特色に応じた科目や総合的な探究の時間を通じて探究活動に重点的に取り組みながら、多様な能力・適性、興味・関心等に応じた学びを実現します。

(ウ) 総合学科

総合学科では、生徒の興味・関心、進路希望などに応じて、共通科目と専門科目の両方から自分自身で科目を選び、学習することができます。

(エ) 専門学科

特定の分野の専門知識・技術・資格を得るための教育を行う学科があります。

農業系学科、工業系学科、商業系学科、看護系学科、福祉系学科、理数系学科、国際系学科、音楽系学科、美術系学科、演劇系学科、体育系学科などがあります。

6 私立の高等学校（2月の入試）

6.1 私立高校の特徴

(ア) 費用

一般的には公立より私立のほうが高いとされています。

受験料約 20,000 円、入学金約 15 万円～30 万円、1 年次の合計費用は約 80 万円～120 万円。

(イ) 男女共学、男子校、女子校

(ウ) 宗教

宗教を精神的な支柱とする場合があります。（公立高校は特定の宗教を背景に教育を行うことはない）

(エ) 施設

スポーツや特別活動に特色があり設備などが優れています。

(オ) 入試問題・科目

国語・数学・英語の 3 教科のみなど高校によって異なります。

(カ) 授業数、内容、カリキュラム

授業時数の多いところが多く、大学受験対策が進む学校では、授業のスピードがはやかったり、難しい内容まで行ったりする高校もあります。

(キ) 指定校推薦(大学)

生徒数を上回る指定校推薦の枠を持っている高校もあります。

(ク) 全国どこでも受験可能

6.2 私立高校の入学試験日

兵庫・大阪・京都など近隣の高校は 2 月 10 日の同じ日に受験が行われます。そのため、深津中学校のほとんどの人が私立高校は 1 校しか受験しません。

6.3 私立高校の専願と併願

(ア) 専願

受験する私立高校を第 1 志望とします。合格したらその学校に必ず入学することを前提として出願する選抜方法です。

ほとんどの場合、併願より合否判定において優遇されます。そのため、出願は 1 校に絞られます。合格後の入学辞退はできません。

(イ) 併願

受験する私立高校を第 2 志望とします。公立高校など第 1 志望の高校が不合格だった場合に、先に併願受験して合格した高校に入学することができます。※併願受験合格後の入学金などの納入については、第 1 志望の合格発表が終わるまで待ってくれる高校が多くあります。

7 兵庫県の公立高校 Part1 (2 月の入試)

7.1 推薦入学

(ア) 日程

- ・適性試験、面接等 令和 8 年 2 月 16 日(月)(一部の学校は 2 月 17 日(火)も実施)
- ・合格者発表 令和 8 年 2 月 20 日(金)

(イ) 合否判定資料

- ・調査書その他必要な書類(推薦書など)
- ・面接
- ・必要に応じて小論文(作文)、適性検査等、実技検査など

(ウ) 受検資格

- ・中学校長が推薦する者
- ・第 1 志望とする者
- ・志願する動機・理由が明白かつ適切であること
- ・適性及び興味・関心を有すること
- など

兵庫県立神戸高等学校 総合理学科
兵庫県立西宮高等学校 普通科
兵庫県立西宮今津高等学校 総合学科
西宮市立西宮東高等学校 科学探究科
など

7.2 特色選抜 (第 2 学区から選ぶ)

(ア) 日程

- ・適性試験、面接等 令和 8 年 2 月 16 日(月)(一部の学校は 2 月 17 日(火)も実施)
- ・合格者発表 令和 8 年 2 月 20 日(金)

(イ) 合否判定資料

- ・調査書その他必要な書類(志願理由書など)
- ・面接
- ・必要に応じて小論文(作文)、実技検査など

西宮市立西宮高等学校 人間探求類型
兵庫県立尼崎小田高等学校 看護医療・健康類型
尼崎市立尼崎双星高等学校 音楽類型
兵庫県立伊丹西高等学校 総合ヒューマン類型
など

(ウ) 受検資格

- ・第1志望とする者
- ・特色ある教育内容を理解し、当該高等学校で学習する強い意欲を持っている者
- ・高等学校長がその特色ある教育内容に応じて定める要件を満たす者など

※推薦入学と特色選抜は同日試験のため、どちらか一方しか受検できません。

7.3 多部制Ⅰ期

(ア) 日程

- ・適性試験、面接等 令和8年2月16日(月)(一部の学校は2月17日(火)も実施)
- ・合格者発表 令和8年2月20日(金)

(イ) 合否判定資料

- ・調査書その他必要な書類(志願理由書など)
- ・面接
- ・作文
- など

(ウ) 受検資格

- ・第1志望とする者
- など

兵庫県立西宮香風高等学校
兵庫県立阪神昆陽高等学校
など

8 兵庫県の公立高校 Part2 (3月の入試)

8.1 複数志願選抜(第2学区から選ぶ)

公立の全日制普通科(単位制を含む)及び総合学科の高等学校で実施します。
(ただし、普通科新学科、特色ある類型、連携型中高一貫教育校は除きます。)

(ア) 日程

- ・学力検査 令和8年3月12日(木)
- ・合格者発表 令和8年3月19日(木)

(イ) 合否判定資料

- ・調査書の各教科の学習の記録の評定
- ・学力検査(国語・数学・社会・理科・英語)
- など

(ウ) 受検資格

- ・公立高校を第1志望とする者
- など

(エ) 志願パターン

- ・第1志望のみ
- ・第1志望＋第2志望

(オ) 500点換算(合否判定資料の計算方法)

調査書(250点)＋学力検査(250点)＝500点

調査書	国語	数学	社会	理科	英語	音楽	美術	保健体育	技術家庭	総配点
学習評定 (通知表)	5段階 × 4倍	5段階 × 4倍	5段階 × 4倍	5段階 × 4倍	5段階 × 4倍	5段階 × 7.5倍	5段階 × 7.5倍	5段階 × 7.5倍	5段階 × 7.5倍	250 点

学力検査	国語	数学	社会	理科	英語	→ 採点し、それを0.5倍 →	総配点
当日の テスト	100点	100点	100点	100点	100点	500点満点×0.5	250 点

(カ) 第1志望加算点

志願者の第1志望を支援するために、第1志望校には一定の加算点を加えて合否判定が行われます。
第2学区では20点が第1志望校に加算されます。

例えば…

調査書150点＋当日のテスト200点＝350点／500点の場合

第1志望校は350点＋加算点20点＝370点で合否判定されます。

第2志望校は350点で合否判定されます。

(キ) 総合学科の実技検査代替

令和7年度入試から実施されていません。

西宮市立西宮高等学校
兵庫県立鳴尾高等学校
兵庫県立西宮苦楽園高等学校（今年度より）
兵庫県立武庫荘総合高等学校 総合学科
など

8.2 単独選抜（全県＝兵庫県内から選べる）

単独選抜においては、1校1学科に出願します。

（ア）日程

- ・学力検査 令和8年3月12日（木）
- ・合格者発表 令和8年3月19日（木）

（イ）合否判定資料

- ・調査書の各教科の学習の記録の評定
- ・学力検査（国語・数学・社会・理科・英語）

など

（ウ）受検資格

- ・第1志望とする者

など

兵庫県立尼崎工業高等学校 機械科
兵庫県立有馬高等学校 人と自然科
神戸市立科学技術高等学校 都市工学科
伊丹市立伊丹高等学校 商業科
など

8.3 多部制Ⅱ期試験A

（ア）日程

- ・学力検査 令和8年3月12日（木）
- ・合格者発表 令和8年3月19日（木）

（イ）合否判定資料

- ・調査書の各教科の学習の記録の評定
- ・学力検査（3教科＝必ず受検する2教科＋選択して受検する1教科）
- ・面接

など

（ウ）受検資格

- ・公立高校を第1志望とする者

など

兵庫県立西宮香風高等学校
兵庫県立阪神昆陽高等学校
など

8.4 定時制・通信制

（ア）定時制

定時制の選抜では、学力検査（5教科）を行います。

（イ）通信制

通信制の選抜では、面接を行います。

兵庫県立神崎工業高等学校（定時制）
兵庫県立青雲高等学校（通信制）
など

9 兵庫県の公立高校 Part3（まとめ）

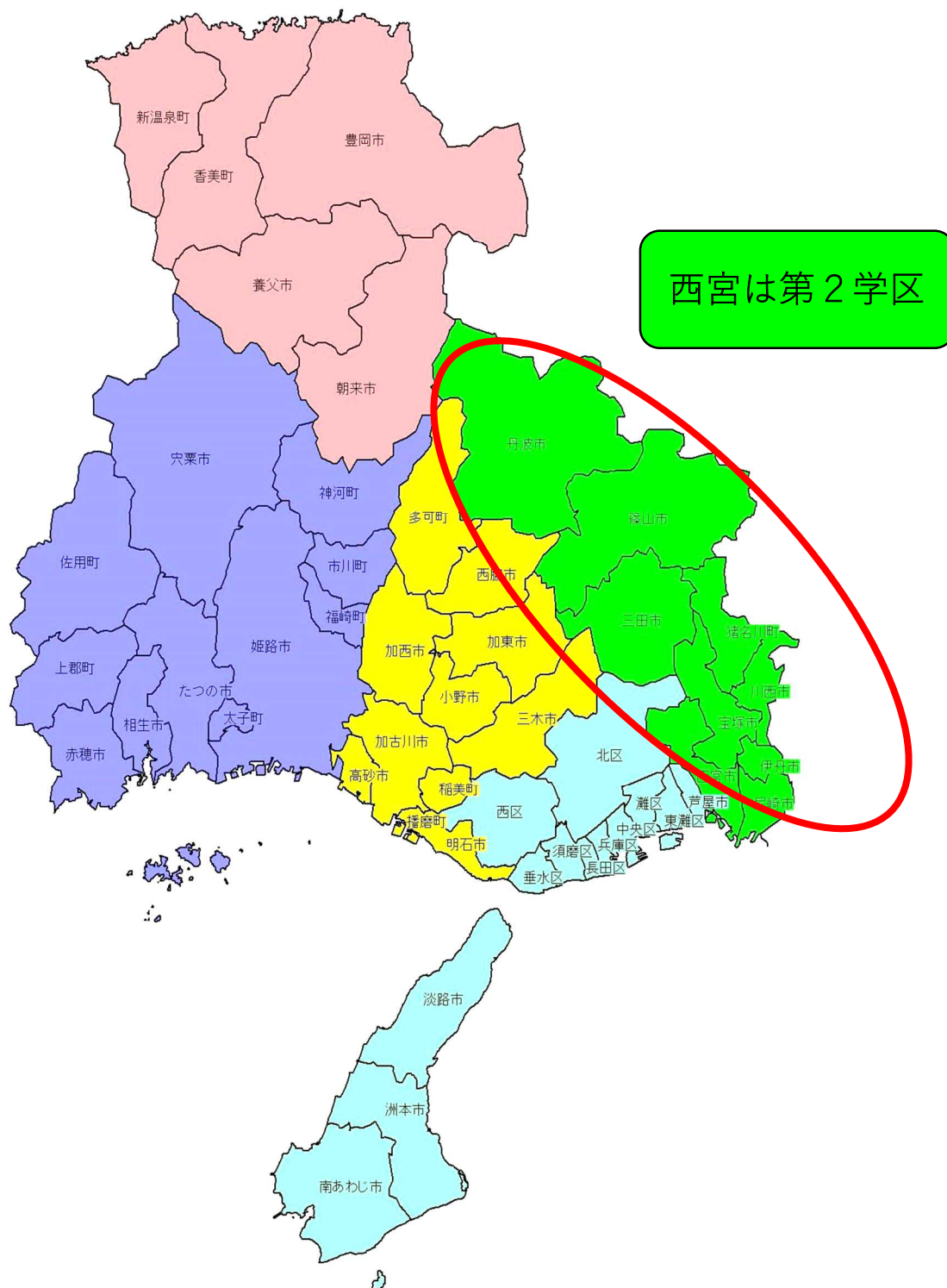
9.1 受検可能な区域

	普通科 (単位制除く)	普通科 (単位制)	総合学科	専門学科
推薦入試 (2月)	第2学区を受検	第2学区以外も 受検できる	第2学区以外も 受検できる	第2学区以外も 受検できる
特色選抜 (2月)	第2学区を受検 (類型)			
学力検査 (3月)	第2学区を受検 (複数志願あり)	第2学区を受検 (複数志願あり)	第2学区を受検 (複数志願あり)	第2学区以外も 受検できる (複数志願なし)

(※家島高等学校、生野高等学校、村岡高等学校の特色類型は第2学区外ですが受検可能です。)

9.2 第2学区

第2学区は「尼崎市 西宮市 伊丹市 宝塚市 川西市 三田市 猪名川町 丹波篠山市 丹波市」です。



10 高等専門学校

高等専門学校は、高等学校と同じく、中学校を卒業した人が入学することができます。入学後は5年一貫（商船学科は5年6ヶ月）で、一般科目と専門科目をバランスよく配置した教育課程により、技術者に必要な豊かな教養と体系的な専門知識を身につけることができます。学んだことを応用する能力を身につけるために、理論だけではなく実験・実習に重点が置かれています。学科は学校ごとに異なります。大きくは工業系と商船系の学科に分かれます。

「ロボットコンテスト」「プログラミングコンテスト」「デザインコンペティション」「体育大会」など、全国規模で学生が日頃学んだ成果を競う全国大会が開催されています。

国立明石工業高等専門学校
神戸市立工業高等専門学校
など

11 特別支援学校

障害のある幼児児童生徒については、その可能性を最大限に伸ばし、社会の一員として可能な限り主体的に生活を営むことができる力を育成するため、特別な配慮のもとに手厚くきめ細かな教育を行うため設置されています。

令和7年度兵庫県立特別支援学校高等部入学者選考の日程

当初：学力検査等 令和8年2月19日(木) 合格者発表 令和8年2月27日(金)

再募集：学力検査等 令和8年3月6日(金) 合格者発表 令和8年3月10日(火)

11.1 視覚障害特別支援学校

視覚障害の幼児児童生徒のために、障害の状態に応じて、点字や拡大教材、コンピューターなどを活用して指導しています。また、高等部の専攻科では、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師などの資格取得を目指した指導を行っています。

11.2 聴覚障害特別支援学校

聴覚障害の幼児児童生徒のために、補聴器などを活用して、話し言葉の習得を促し、言語力を高める指導を行っています。高等部の専攻科では、コミュニケーションデザイン科、工業技術科、生活デザイン科などの多様な学科を設けるなどして、生徒の進路希望に即した指導を行っています。

11.3 知的障害特別支援学校

知的障害の児童生徒のために、一人一人の発達段階に合わせて、基本的な生活習慣や言葉の指導、集団生活や対人関係など、生活に結びついた内容を具体的な活動を通して指導しています。また、高等部では、木工、草花の栽培、縫製、情報処理など、職業教育の充実を図っています。

11.4 肢体不自由特別支援学校

肢体不自由の幼児児童生徒のために、各教科の指導とともに自立活動では、座位の保持や起立・歩行の指導、衣服の着脱、食事などの日常生活動作の指導、コミュニケーションの指導などを行っています。

11.5 病弱特別支援学校

医療や生活規制を必要とする児童生徒のために、各教科の指導のほかに、隣接している医療機関との密接な連携のもとに、病気の回復や克服のための知識や習慣を身に付けたり、回復意欲の向上を図ったりする指導も行っています。

12 専修学校

専修学校は、昭和 51 年に新しい学校制度として創設されました。「職業若しくは実際生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図る」ことを目的とする学校であるとされ、実践的な職業教育、専門的な技術教育を行う教育機関として、多岐にわたる分野でスペシャリストを育成しています。

深津中学校からの進学実績としては、育成調理師専門学校、エコーペットビジネス総合学院、バンタンゲームアカデミーなどがあります。

13 就職

13.1 なぜ働くのか（職業の 3 要素）

- (ア) 経済性: 収入を得て、自分や家族の生活の維持や向上をすること。
- (イ) 社会性: 社会の一員として、働くことを通して社会に貢献すること。
- (ウ) 個性: 職業を通して個性や能力を発揮し、自主的に目標や理想を実現すること。

13.2 資質

- (ア) 基本的な生活習慣
- (イ) 協調性
- (ウ) 基礎学力

13.3 事業所の選び方

- (ア) 職業安定所（ハローワーク）経由

ハローワークの求人は仕事の内容や労働条件などをしっかり確認しています。採用後もハローワークが

見守ってくれます。ハローワークと中学校は連携を取りながら本人の希望にそった事業所を斡旋します。
(イ) 縁故就職

縁故就職とは、社員や親族、知人といった縁がある方に頼る就職、採用の方法です。

13.4 中学校卒業後の就職の現状

厚生労働省の「新規学卒就職者の学歴別就職後3年以内離職率の推移」を確認すると、平成31年中学卒の離職率は57.8%です。

「勉強が苦手だから働く」といった考えは控えてください。中学卒で就職することは難しい時代ですし、働くことは進学するよりも厳しい一面があります。

14 家事や家業

家事や家業に身を置きながら、大学・短大・専門学校の受験資格取得のため高等学校卒業程度認定試験の勉強をしたり、定時制、通信制高校に進んで、高校卒業資格を目指したりする人もいます。

15 高校生等への修学支援

15.1 国の就学支援金

入学してすぐに、学校に申請します。申請書類は学校から配布されます。入学後、高校等から書類がお手元に届かない場合、高校等にお問い合わせください。

15.2 県の私立高等学校等生徒授業料軽減補助制度

7月～9月ごろに、学校に申請します。申請書類は高校等から配付されます。申請書類の配布時期は、高校等にお問い合わせください。

15.3 奨学給付金

生活保護世帯(生業扶助受給)または市町民税所得割額及び県民税所得割額が0円の世帯など、一定の要件を満たす世帯を対象として、授業料以外の教育費負担を軽減するため、奨学給付金が支給されます。詳細については、高校等にお問い合わせください。

16 保護者の皆様へ

- (ア) お子様が主体的に進路を切り開くために、本人ができることは本人にさせてください。
(提出物や外出の用意、かたづけ、起床、あいさつ、物の管理、連絡など)
- (イ) 日常生活の小さな失敗の積み重ねが必要です。(AI の登場による子どもが失敗する経験の減少。)
- (ウ) 提出物の期限は必ず守ってください。
- (エ) 進路に関わる提出物は、お子様に書かせてください。(保護者自署の欄は除く)
- (オ) 進路に関わる提出物は、お子様と保護者のダブルチェックをして提出してください。
- (カ) 保護者の署名やハンコが必要な書類は、お子様の記入後^後に署名や押印をしてください。
- (キ) 学校説明会に保護者も参加してください。
- ★(ク) 今後、私立、公立ともに Web(インターネット)出願に移行していきます。家庭での出願書類作成、受検票の印刷、現金を用いないお金の納入などが滞りなく行えるように準備をしておいてください。

17 第 2 回進路説明会の内容(予定)

- (ア) 私立 1.5 次入試
- (イ) 私立転科合格
- (ウ) 公立高校志願変更
- (エ) 出願書類(入手方法、必要な書類)
- (オ) 出願までの流れ(web 出願含む)
- (カ) 受験料・入学考査料(入学考査料納付など)
- (キ) 合格発表後の流れ
- など